



# 最上エコポリス通信

— mogami ecopolis tsushin —

2022年4月号

山形県最上総合支庁 隔月発行  
最新情報はツイッターでご覧ください



## 最上総合支庁長就任のごあいさつ

4月1日に最上総合支庁長に就任いたしました泉です。どうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナの国内感染初確認から2年以上経過し、いまだ収束が見通せない状況ではありますが、最上地域の皆様には県がお願いしております感染防止対策やワクチン接種等に御理解と御協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

今後は、感染拡大防止と大きく傷んだ地域経済の再生に最上総合支庁一丸となって取り組んでまいりたいと考えております。

このような中、今年中には東北中央自動車道の東根一尾花沢間が全線開通し、いよいよ新庄市から首都圏までが高速道路で繋がります。最上地域の新たな時代がスタートいたします。また、来年初の新しい県立新庄病院の開院、令和6年4月の東北農林専門職大（仮称）の開学に加え、最上地域のゲートウェイとなる「道の駅」の検討も進められており、最上地域の限りない発展に向けて、地域の皆様、市町村の方々と連携して最上総合支庁の役割をしっかりと果たしてまいります。

私は最上地域での勤務は初めてですが、「生まれは新庄、育ちは山形」であります。生まれ故郷「新庄・最上」のために働ける喜びを感じながら尽力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



最上総合支庁長  
泉 洋之

## 新庄IC付近「道の駅」検討会 初会合

東北中央自動車道の延伸など高速交通網の整備効果を最上全体に波及させることを目指す「新庄インターチェンジ付近道の駅（仮称）検討会」が3月24日に新庄市民プラザで開催されました。昨年11月に県主体の検討組織を最上8市町村へ移管しての初の会合で、最上地域の「玄関口」となる道の駅実現に向けた連携強化を確認しました。今後、設置候補地や必要な機能、施設規模等の検討を本格化させます。

初会合では、会長に山尾順紀新庄市長、副会長に渡部秀勝戸沢村長と柿崎力治朗新庄商工会議所会頭が選出されました。

4月以降、8市町村及び商工会議所、国、県の各担当課長らで構成する作業部会で具体的な議論を進め、候補地の絞り込みなど必要に応じて検討会が開催されます。

[建設総務課 29-1391]



## 受賞おめでとうございます！

3月9日、最上総合支庁において、令和3年度最上地域農林水産業若者賞の表彰式が開催されました。この賞は、農林水産業分野で活躍する地域の若者の優れた功績・成果を最上総合支庁長が表彰するものです。

受賞されたみなさま、  
誠におめでとうございます！

### 受賞されたみなさま

- 農業 二戸部 康之さん（戸沢村）
- 林業 小関 大祐さん（新庄市）

[地域産業経済課 29-1307]



【男女共同参画事業】「企業における女性活躍とワーク・ライフ・バランス推進研修会」

## 職場を活性化するダイバーシティ経営 ～女性活躍が必要な理由～

2月16日、男女共同参画センター「チェリア」館長 伊藤 眞知子（いとう まちこ）氏を講師に、最上地域における女性活躍の意識醸成を促し、女性が地域社会の中で誇りを持って活躍することができる社会を実現するため、企業の管理者等を対象にした「企業における女性活躍とワーク・ライフ・バランス推進研修会」を開催しました。Zoomを活用した開催となり、県内各地から43名の参加がありました。

講演は基本的概論から組織や個人への応用編まで短時間に凝縮された内容となりましたが、分かりやすく解説をいただきました。女性のみを優遇するというものではなく、「ダイバーシティ経営」として誰もが働きやすい環境づくりの重要性を示され、その原因となる「アンコンシャスバイアス」の大きな要素である偏見や思い込みといった偏った考え方・意識の解消の必要性についてお話をいただきました。

[子ども家庭支援課 29-1221]



## 未来に伝えたい、最上小国川の魅力！

最上小国川清流未来振興機構では、最上小国川の大切さを再認識し、未来に伝える機運の醸成を目的として、令和3年度に「第6回最上小国川写真コンテスト」を開催しました。今回は入賞作品の中から、特別賞作品の3作品をご紹介します。

入賞作品はHP (<https://seiryu-mogamiogunigawa.jp/>) に掲載するほか、巡回展示や印刷物等により、広く発信してまいります。 [連携支援室 29-1240]



●特別賞『流れの中で』  
齋藤 彰さん（新庄市）



●特別賞『新緑の義経大橋』  
小林 佳子さん（山形市）



●特別賞『我が家の釣り名人』  
沼澤 飛鳥さん（舟形町）

## 通学時の児童を交通事故から守る取り組み

毎年、警察、教育委員会、道路管理者が通学路を合同で点検し、対策の必要性や効果を検証しています。県管理道路においては、昨年6月に千葉県八街市で下校中の児童が巻き込まれる事故を受け、交差点の巻き込み部にガードパイプを設置しました。令和4年度も継続し、安全確保に努めていきます。

写真は、大蔵小学校の通学路になっている国道458号と村道の交差点にガードパイプを設置したものです。その他、新庄停車場線（新庄市沖の町）、最上鬼首線（最上町向町）にも設置しました。

[道路計画課 29-1444]

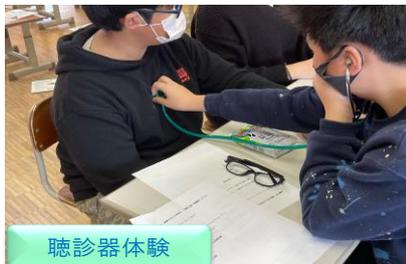


## 進路を考える学習会～めざせ医療・介護のしごと～開催！@真室川小学校！！

最上地域の医療・介護分野の人材確保を図るため、管内の小学校高学年や中学生を対象に、将来の職業として医療・介護の仕事に関心を持っていただけるよう「進路を考える学習会～めざせ医療・介護のしごと～」を開催しました。

今年度第8回目として、2月1日に真室川小学校6年生を対象に、特別養護老人ホーム福寿荘（看護師・作業療法士）、最上保健所（薬剤師）から講師をお迎えして開催しました。講師からは、仕事の内容とともにこの仕事を選んだ理由や魅力などについて講演していただいた後、各ブースに分かれて体験学習を行いました。子どもたちは、聴診器体験、ハンドクリーム作成体験、車いす体験など、興味深く取り組み、医療・介護への関心が高まったようです。

[保健企画課 29-1257]



聴診器体験



ハンドクリーム作成体験



車いす体験

## 新社会人応援！プレルーキーズカレッジ

2月18日、わくわく新庄を会場として今春就職予定の高校3年生を対象に、プレルーキーズカレッジを開催し、25名の方にご参加いただきました。

地元企業で活躍する7名の若手社員の皆さんにお越しいただき、1日のタイムスケジュールや就職1年目に大変だったことなどお話をいただきました。

時折笑い声が響く楽しい交流が行われ、参加者からは、「聞きたかったことをたくさん知ることができ、すごく充実した時間だった。」「不安でいっぱいだったが、先輩方の話を聞いて気持ちが楽になった。聞いたことを活かして頑張りたい。」、といった前向きな感想が多く聞かれました。

ルーキーズの皆さんの活躍を期待しています！

[地域産業経済課

29-1309]



## オールもがみ若者定着・人材確保推進会議

3月18日、令和3年度第2回オールもがみ若者定着・人材確保推進会議をオンライン開催し、企業や経済団体、教育機関、行政機関等、40名を超える方々にご参加いただきました。

山形大学学術研究院の松坂准教授から、地域の企業を若者や保護者等に知ってもらうには、その魅力発信において産学官の連携が重要であること等についてご講演いただきました。その後、新庄市、新庄商工会議所から取組事例について発表いただき、引き続き、関係機関が連携し、効果的な事業展開を図っていくことを確認しました。

オールもがみの取組みによって、成長した子どもたちが、将来にわたりこの地域で生き生きと働き、暮らせるよう、そして次の世代にもつながっていくよう、引き続き若者定着・人材確保に取り組んでまいります。

[地域産業経済課 29-1309]

## 就農をサポートしています！

3月10日、最上広域交流センター“ゆめりあ”にて、最上地域でこれから新たに農業を始めようとしている人を対象に、農業担い手研修会を開催しました。就農を予定している6名が各ブースに分かれ、就農する上で不安に思っていること等を話しながら、地域で活躍する県指導農業士、青年農業士の皆さんからアドバイスをいただきました。

「不安に思っていたことが解決した。」「相談できる人が出来た。」等、好評でした。



[農業技術普及課  
29-1326]

## これからのまちづくりについて ～山形県企業誘致促進協議会～

3月2日、ゆめりあ会議室において、最上地域部会企業立地関係職員研修会を開催しました。

会津地域スマートシティ推進協議会の事務局長本田 勝之助氏を招いて、会津若松市の先進的な取組の紹介とこれからの企業誘致・観光とまちづくりのあり方についてご講演いただきました。

研修会では、地域の課題解決に、企業から積極的に関与してもらい、その結果企業誘致につなげている事例をお聞きし、アフターコロナの企業誘致のあり方を考える大変有意義な研修会となりました。

[地域産業経済課 29-1307]

## とれいゆつばさ ラストラン

車内で足湯が楽しめる新幹線として、多くの方に親しまれてきた「とれいゆ つばさ」が2022年3月27日の特別運行をもって引退となりました。

約7年間の運行に感謝し、みんなで「とれいゆ つばさ」を見送りました。



[観光振興室 29-1312]

感謝を込めて  
ありがとう  
とれいゆつばさ

## 雪国ブランドモデル構築事業 モニターツアー実施

最上地域にシンシンと積る雪を重要な観光資源として捉え、2月25、26日に「ユキシカナイ贅沢～最上で過ごす最上の冬旅～」をテーマに、モニターツアーを実施しました。

かんじきを履いて雪原を歩いたり、雪の下野菜を収穫して食べたりと、雪国ならではの体験、食などを満喫していただきました。



[観光振興室

29-1312]

## 善意の寄附に感謝!!

3月3日、東北各県で調剤薬局を展開するラッキーバッグ株式会社（本社：舟形町、代表取締役社長：三浦祐福氏）が、山形県児童養護施設協議会（会長：荒井聡双葉荘荘長）に対し寄附の贈呈を行いました。東日本大震災を契機に、店舗や社員から集まった募金を家庭に恵まれない子どもたちのために役立ててほしいとの趣旨で、平成23年度から継続して協議会に寄附しており、今回で11回目となります。



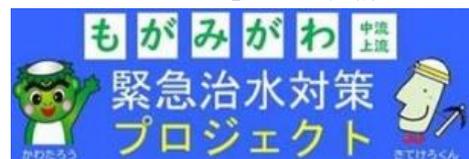
[子ども家庭支援課 29-1265]

## 最上川流域治水協議会が開催されました

近年、気候変動により、水害が激甚化、頻発化しています。最上川流域治水協議会は、こうした状況に備えるため、最上川流域において、関係する機関が協働して「流域治水」（流域全体で水害を軽減させる治水対策）を計画的に推進するための協議・情報共有を行うものです。令和4年3月4日、第5回の協議会が開催され、各構成員それぞれの取組事例を情報交換したほか、次年度以降も取組の更なる充実に向け協議会等を開催していくことを確認しました。

最上総合支庁も協議会構成メンバーの一員として、今後とも流域治水の推進に取り組んでいきます。

[河川砂防課 29-1407]



## お知らせ

★有毒植物の誤食に注意してください！



【食用】ニラ  
強烈な臭いを放つ

【有毒】  
スイセン  
臭いはない

～有毒植物による食中毒を起こさないために～

スイセンをニラと間違えるなど、有毒植物を野菜や山菜と間違えて食べたことによる食中毒が毎年発生しています。誤食を防ぐため、次のことに注意しましょう。

★食用の植物と確実に判断できない植物は、絶対に採らない・食べない・売らない・人にあげない。

★野草と有毒植物が混生することがあるので、よく確認して採るようにし、調理前にもう一度確認しましょう。

★家庭菜園や畑などで野菜と観葉植物と一緒に栽培するのはやめましょう。

★山野草を食べて、異常を感じたときは、残品を持って早急に医療機関を受診しましょう。  
[生活衛生室 29-1261]

巡るたび、  
出会う旅。東北  
宮城・山形・福島

## もがみ AMAZINGトレイル ～歩いて眺めて感じるみち～

4月から6月の「JR 東日本 南東北重点販売」にあわせ、俳聖松尾芭蕉も歩いた最上町の山刀伐峠や鮭川村のまぼろしの滝・与蔵の森、日本の棚田百選のひとつである大蔵村の四ヶ村の棚田とブナ林を巡るトレッキングなど、各市町村で新緑の中を歩いて楽しむメニューを用意しています。



山刀伐峠トレッキング【最上町】

若葉萌える木々を愛でながら、風の音、鳥のさえずりに耳を傾け、景色のいいところでじっくりと味わうコーヒー、もがみの自然の中でAMAZINGを見つけてみませんか。



詳細はこちら→  
(旅東北 HP 内)



〔観光振興室 29-1312〕

### ＝自動車をお持ちの皆様へ＝

自動車税種別割の納期限は

**5月31日(火) です！**

- お手元に納税通知書が届きましたら、お近くの金融機関、郵便局、各総合支庁税務担当課、コンビニエンスストアで納めましょう。
- 期限内であればインターネットを利用してクレジットカード納付、スマートフォンによる納付も可能です。 [税務課 29-1229]

### 「おいしい適塩ランチ」今年度もお楽しみに！

3年目を迎える「おいしい適塩ランチ」。さらに「手軽においしく」をテーマに最上総合支庁の食堂で年間4回の提供を予定しています。一般の方もご利用できますので、ぜひ塩分2.5g、野菜たっぷりのヘルシー定食をお試しください。



場所：最上総合支庁食堂「千起」

実施：5、8、10月、R5年1月の各19日  
〔地域健康福祉課 29-1267〕

### 5月31日は「世界禁煙デー」

5月31日はWHOが定めた「世界禁煙デー」です。喫煙は、がん、心臓病、脳卒中、歯周病などのリスクを高め、肌のシミやしわの原因にもなります。他の人の喫煙による「受動喫煙」もがんや心臓病、流産などのリスクが高まります。

令和2年4月に健康増進法が改正され、企業の事務室や店舗など多くの施設が加熱式たばこを含め、「原則屋内禁煙」になりました。たばこの影響について改めて考え、あなたとあなたの大切な人を受動喫煙から守りましょう。

〔地域健康福祉課 29-1267〕



### ♡最上地域の婚活支援拠点♡

### 「やまがたハッピーサポートセンター 最上支所」

最上地域を活動エリアとする「やまがたハッピーサポートセンター最上支所」は、令和3年5月に新庄駅前に誕生し、もうすぐ1年となります。

結婚を希望する独身者を応援するための「マッチングシステム」を活用したカップリングの提供や、ボランティア仲間「やまがた縁結びたい」による結婚に関する総合相談をお受けしております。

○開所：毎週木、金、土曜日の10:00～19:00

○場所：新庄駅前（新庄市若葉町1-39）

○電話：0233-29-8380

〔子ども家庭支援課 29-1221〕

## 事業復活支援金 申請サポート窓口について

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上げが減少した事業者を対象とした、政府の「事業復活支援金」の申請をサポートするため、最上総合支庁に申請サポート窓口を設けています。

ご利用を希望される場合、**必ずお電話での事前予約 (TEL:29-1306)** をお願いします。

□期間：令和4年5月31日(火)まで(予定)

□時間：午前9時～正午、午後1時～5時(土・日・祝日を除く)

※なお、行政書士による受給資格などの事前確認及び申請サポートは、**火曜・金曜のみ対応**しています。

□場所：最上総合支庁3階 地域産業経済課

□留意事項：原則として、商工団体等の会員以外の方を対象としています。

申請はご本人に行っていただきます。代理申請等を行うことはできません。



事業復活支援金  
ホームページ

<問合せ先> 地域産業経済課 29-1306

## 新型コロナウイルス感染症について

県では、これまで再拡大(リバウンド)防止特別対策(2/21～3/6)やクラスター抑制重点対策(3/7～3/21)に取り組んでまいりましたが、新規陽性者数は高止まりしています。

また、進学や就職などで人々の移動や会食の機会が多くなる時期を迎えますので、今後も感染防止対策を徹底していく必要があります。引き続き、以下のことについてご理解、ご協力をお願いします。

### ① 感染防止対策の徹底について

- ・不織布マスクの着用や、こまめな手洗い、消毒、ゼロ密(密閉、密集、密接の全てを避ける)、換気の励行など基本的な感染防止対策の徹底を引き続きお願いします。
- ・特に子どもや高齢者への感染を防止するため、家庭内でも定期的な換気、こまめな手洗い等を実践し、同居する高齢者や基礎疾患のある方と会話する際にはマスクの活用などを考えてください。
- ・混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出・移動は避けてください。
- ・発熱・咳など、少しでも体調が悪い場合は、外出や移動を控え、事前に医療機関に連絡し、受診してください。
- ・無症状でも感染に対する不安を感じる場合は、無料のPCR等検査を受けてください。

### ② 県外との往来等について

- ・移動する場合には、移動先の感染状況の把握に努め、基本的な感染防止対策の徹底や、無料のPCR等検査の活用、体調不良時は移動を控えるなど「うつさない」「うつらない」行動を徹底してください。

### ③ 会食等について

- ・会食の際も、不織布マスクの着用、こまめな手洗い、消毒、ゼロ密、換気の励行など基本的な感染防止対策を徹底してください。
- ・職場での昼食や休憩中の飲食等も含め、黙食を基本とし、会話をする際はマスクの着用を徹底してください。
- ・都道府県の認証施設など感染防止対策が講じられた施設を利用してください。

### ④ 年度初めにおける留意事項について

- ・歓送迎会などで会食する場合も、都道府県の認証施設など感染防止対策が講じられた施設を利用し、基本的な感染防止対策を徹底してください。
- ・お花見など屋外で会食する場合も、基本的な感染防止対策を徹底してください。

[総務課防災安全室 29-1209]

発行日：令和4年4月14日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課

総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605



Twitter



HP

